



最優秀賞を受賞した松原さんの家族と受賞作品

ひ孫へのおばあちゃんの愛情

「家族のきずな」携帯写真コンテスト

「家族のきずな」をテーマに行われた携帯写真コンテストの表彰式が1月6日、市役所で行われ、最優秀賞と優秀賞に選ばれた作品の4家族に賞状や記念品が贈られました。

応募総数90点のなかから、昨年11月に市図書館で行った市民投票の結果、松原匡宏さん(福井)の「ひいばあちゃんと僕とわんこのお喋りタイム」が最優秀賞に選ばれました。温かいまなごしにひ孫への愛情が感じられる作品です。

優秀賞は、鎌田徳一さん(新本)、高木友美さん(久代)、宮本真梨子さん(西阿曾)の3人です。

最優秀賞は前原勲さん

ご当地ナンバープレートフォトコンテスト

平成23年1月から交付を始めたご当地ナンバープレートをテーマにしたフォトコンテストの表彰式が12月21日、市長室で行われ、上位3賞の受賞者に市長から賞状と記念品が手渡されました。

最優秀賞は前原勲さん(清音柿木)の「おじいちゃん きれいに撮ってね」。おじいちゃんと孫のやりとりが自然で、全体のバランスや色のまとまりも良いと高く評価されました。優秀賞「雪舟の里」賞には、森政也さん(井尻野)の「紅葉の撮影」が、優秀賞「吉備のくに」賞には、谷本峰子さん(中央一丁目)の「おいでんせえ、国分寺へ!!」が選ばれました。



受賞者。写真左から、前原さん、谷本さん、森さん

ミニフォト

100歳おめでとう



家族から祝福される吉澤さん

吉澤優さん(清音古地)が1月1日、満100歳の誕生日を迎えられ、1月5日に市と県から記念品が贈られました。清音村議を2期務めた吉澤さん。長寿の秘訣は、「前向きに取り組んできたこと」だそうです。

壁を作らず、みんな手をつないで



ステージでのダンス

ソウジャ インターナショナル フェスタが12月18日、カミガツジプラザで開催されました。「壁を作らず、みんな手をつなごう」。訪れた人は、ブラジルや中国など8か国の人による歌や踊り、料理などを通じ国際理解を深めていました。

岡山空港方面へのアクセスが向上



岡山方面に向けて通り初め

県道総社足守線の東阿曾地内から岡山市北区の上土田地間を結ぶ455mのバイパスが12月16日に開通。足守や岡山空港方面へのアクセスが向上しました。この日、阿曾地区有志が開通式を挙行し、バイパスの完成を祝いました。

美しい五重塔に魅せられる

備中国分寺五重塔ライトアップ

備中国分寺五重塔のライトアップが1月10日、点灯式での合図とともに始まりました。

地域の元気の創出と観光振興がねらい。夜の吉備路に浮かび上がった美しい五重塔に、訪れた人らはしばし立ち止まって見入っていました。

ライトアップは3月31日までの毎夜、午後6時から10時まで実施。



夜空に浮かび上がる美しい五重塔を撮影するカメラマン

鬼ノ城と宝福寺を舞台に初恋物語

そうじゃシナリオ・小説コンテスト

総社市を舞台にした「そうじゃシナリオ・小説コンテスト」の八名大賞に、応募総数30点のなかから明石美恵子さん(浅口市、ペンネーム：星乃ひかる)の作品『鬼ノ城』が選ばれました。主催したそうじゃフィルムコミッションは今年1年かけ、このストーリーを基に映像かまんがでのメディア化を目指します。

明石さんの作品は、鬼ノ城と宝福寺を舞台にした小説。心に影のある不登校の少女が、鬼ノ城で出会った温羅と名乗る少年と会い、心を通わせていく一夏の甘酸っぱい初恋物語です。

表彰式は12月15日、市役所で行われ、同コンテ



八名信夫さん(写真右)から賞状を贈られる明石美恵子さん

ストの審査委員長で俳優の八名信夫さんが最高の賞の八名大賞と準大賞、特別賞の3賞を発表。明石さんら3人に、賞状と賞金を贈りました。

二十歳の門出をみんなで祝う



二十歳の決意を披露する新成人

成人記念式が1月8日、市民会館で開かれ、出席した新成人550人は同級生との再会を喜びながら、大人への決意を新たにしていました。会場には市民からのお祝いメッセージもあり、二十歳の門出をさまざまな人がお祝いしました。

移転の記念に子どもたちの手形



手形を押す子ども

清音支所に移転整備中の清音公民館で、移転の記念になるものを残そうと12月23日、エレベーターホールの床に手形のモニュメントを作りました。小学生80人が参加。子どもたちは一人ずつ、セメントの床に手形を残していました。

よい新年を迎えようと学ぶ



おかざり作りを学ぶ池田小児童

昨年末、迎春準備に向けおせち料理やおかざり作りを学ぶ講座が、市内各所で開かれました。池田小学校の5年生は12月19日、地域の人からおかざり作りを学習。子どもたちは、わらのない方に悪戦苦闘しながら仕上げていました。